

今年の作業風景(1月11日)



品化を目指します。

## 名前の由来

初花は、「梅の花」を指すことが多く、初花月は、いつも美しく、みずみずしさを失わない女性という意味を持ち、2月の季語に使用される言葉です。干し餅も寒い冬でなければ作れず、また、形状が三日月に似ていることから付けた名前です。初花月の特產品化によって、冬が待ち遠しくなるかもしませんね。

初花月を大葛の特產品に。「初花月の会」に期待ください！（アメツコ市にも出店します）



きの私。温泉に釣られて赴任したと言つても過言ではありません（笑）。大葛温泉町民浴場は私も常連で、地区の人だけではなく、鹿角市から入湯客も来る温泉施設です。

未来ヴィジョンにも掲げた温泉の活用や地域情報の発信につなげられるものと考へ「温泉の素を作ろう！」と話を出したのが、ちょうど1年前の2月のことでした。

しかし、その行程は順調とはいわず、商品選びとパッケージ作りに難航し、何度も地域で話し合いました。発売されなかつた試作品も2種類、パッケージも10種類以上作成し微調整して、ようやく23年7月24日の大葛温泉まつりで大葛温泉の素が発売されました！

## ちふつとPR

比内のとつと館と観光物産プラザで、1袋100円にて販売中。また、ネット販売でのみ、10回分700円で販売。大葛温泉のPRのためにと地域の話し合いで決まったこの安さ！

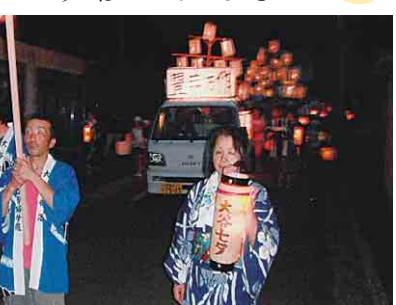
初花月を大葛の特產品に。「初花月の会」に期待ください！（アメツコ市にも出店します）

大葛温泉の氣分をこ家庭でどうぞ♪



## 大葛温泉の素

## 大谷七夕



大谷地区の大谷で毎年8月に行われて月に行われる行事が「大谷七夕」。戦前から行われているそうですが、いつから始まつたのかは定かではないとのことです。この行事は、豊年満作を願つて行われていて、昔は各々で灯籠を作り、子どもたちはそれに好きな絵を描き、自慢の絵を披露し合つていたそうです。今でも地区の皆さんのが集まつて「わいわい、がやがや」としながら楽しく作業をしてますよ！

私は灯籠作りのお手伝い。皆さんと話をしながらの作業とおいしいご飯に誘われ（笑）、毎週土曜日に行われる作業が本当に楽しみでした。

豊年満作、子供の成長、震災復興という三つの願いが込められた大谷七夕となり、七夕の情景、太鼓の音、とてもも心に残つたイベントでした。



灯籠の紙貼り作業



お祭り後の切なさと言ったら…(涙)  
今年も楽しみです♪



勝浦の皆さんありがとうございます！

る限り使われ続けるそうです。

また、地域おこし協力隊の縁で、徳島県勝浦町の東日本大震災復興イベントで使用されたメッセージ付きの竹灯籠約350個を譲つてい

ただ

きました。徳島県の方々の「被災地により近い場所で使ってほしい」という思いから贈られたもので、皆さんの温かさを感じました。